



遺言書の作り方が変わる

自分で作ろうとすると・・・

相続財産をどう分割するか、遺言書にしておけば争いは避けられたはずなのに、というケースは少なくありません。遺言書には、公証役場で証人を立てて作成する公正証書遺言、自分一人で書き出す自筆証書遺言などの種類があります。

公正証書遺言はパソコンで清書してもらえますが、自筆証書遺言の場合はすべての遺産を漏れなく正確に正しい形式で**手書きにより**記載しなければいけません。相当の難易度です。仮にできたとしても、偽造や廃棄されてしまう危険もあります。

また、自筆証書遺言の場合、相続時に家庭裁判所で検認という内容確認の手続きが必要となりますが、これは遺言書の真偽を確かめてくれる手続きではありません。もし遺言書の有効性を争う場合は、訴訟になってしまうのです。



改正で作りやすくなる

自筆証書遺言は費用をかけずにできますが、トラブルになりやすいのです。そもそも手書きで完璧に作成することが高いハードルです。特に、たくさん財産を持つ人にとって、すべての財産を手で書き出すのは大変です。

そこで、改正が行われることになりました。これまでは財産の目録に関してもすべて手書きでなければならないとされていましたが、目録はパソコン等で作成してもよいことになりました。パソコン等で作成した全ページに署名・押印する必要がありますし、どの財産を誰に相続させるか等の本文は従来通り手書きする必要がありますが、この改正によりかなり作成しやすくなるでしょう。

作成時期に注意

注意しなければならないのは、上記改正が反映されるのは、2019年1月13日以降に作成する遺言書となります。その前に自筆証書遺言を作成する場合には改正前の方式、つまりはすべてを手書きでしなければならないので要注意です。



遺言書の保管制度

自筆証書遺言の場合は作成者が責任をもって保管しなければなりません。誰かに任せると偽造されたり紛失・破棄されたりするおそれがありますし、そうかといって誰にもわからないところに隠していると相続発生時に存在を知られず無意味に終わるおそれがあります。どのように保管するかは課題のひとつなのです。

この問題に関しても改正が行われ、法務局で遺言書を保管する制度が創設されました。遺言書作成者本人が法務局に申請すればよく、法務局が原本だけでなく画像データも保管してくれるので安心です。

法務局保管のメリット

公的機関である法務局で保管してもらえるだけでもありがたいですが、他にもメリットがあります。

自筆証書遺言の場合は相続時に家庭裁判所で検認が必要でしたが、法務局で保管してもらう場合、この検認手続きが不要となります。ただでさえ慌ただしい相続発生後に手続きが減るのはメリットと言えるでしょう。

また、相続人の誰かが法務局にて遺言書の閲覧や交付申請をした場合、他の相続人に遺言書があることが通知されます。遺言書の存在が明らかになりますので、遺言者の遺志が伝わりやすく、トラブルの回避につながることを期待できます。



ただし、施行はまだ先

新保管制度の開始時期は2018年7月13日から2年以内で定められることになっていますので、まだ具体的な時期はわかりません。慌てて法務局に行っても取り合ってもらえませんので、発表を待ちましょう。



遺言相談の重要性

改正された制度では自筆証書遺言が作りやすくなるといえます。しかし、これらの制度はあくまで遺言書の作り方や保管方法であって、遺言の内容自体をチェックしてくれるわけではありません。

一番重要なのは、どのように相続財産を分割するかという遺言の内容になります。石島会計では、遺言内容の検討・遺言書の作成方式のいずれもサポートしますので、遺言に関して気になることがあればまずご相談下さい。

(文章 石島慎二郎)



金沢に行ってきました

文章 市村渚

↑ご当地キャラ ひやくまんさん

残暑厳しい中、友達の住む**金沢**へ行ってきました。案内してくれるというので、私はもちろん無計画です。自他ともに認める仕事熱心(?)なので、仕事を終えてから、夜行バスで行くことにしました。



東京駅を出発し、バスに乗ること**約10時間**!!翌朝、初めての夜行バスによる果てしない疲れとともに、無事に金沢駅に到着しました。金沢駅は、とても大きく、デザイン性のある外観(左写真)でした。

～ 近江町市場 ～

金沢に来たら、**地魚**をぜひ食べてほしい!と行ってきて、よく行くというお寿司屋さんに連れていってもらいました。こちらでは、なかなか見ない魚も多く、どれも新鮮でとてもおいしかったです。



また、市場には、魚や肉はもちろん、**加賀野菜**や果物など、金沢ならではのものが多く並んでいたのが印象的でした。その中でも、「**ルビーロマン**」という**シャインマスカットの2倍**、**巨峰の10倍**の値段のする粒の大きなぶどうにびっくりしました。友達は食べたことがあるそうで、感想を聞くと「皮が固いぶどう…」とっていました(笑) シャインマスカットの方がおいしいそうです。



～ 兼六園 ～

金沢に来たら、訪れてみたかった場所の1つ**兼六園**です。金沢駅からもバスですぐの所でした。外国人観光客の方が多かったように思います。

庭園内は想像していたよりも広く、途中で

迷うくらいでした。さっきも来たような…こんなことが何度あったでしょう。

それでも、直感だけを信じて、歩き続けました。庭園は木々や池があり、きれいに整えられていて、日本らしさが感じられ、落ち着く場所でした。少し高台にあるため、眺めも良く、市内を一望することができました。



庭園内の観光を終えた帰り道、目を疑う看板が！！ピカピカに輝くソフトクリーム！しかも 2,000 円！プラチナと金沢では有名な金箔がのっているようです。

それにしても、この見た目と値段には驚きです。当然、一般庶民の私たちは購入せず、売れるのか？！と半信半疑でいると、隣にいた修学旅行生が何のためらいなくご購入。ここに来て一番の衝撃です。今の若者と感覚が違うらしい…。2,000 円のピカピカ輝くソフトクリームは味わえませんでした。どこからともなくやって来る敗北感だけは、しっかり味わった私たちでした…。

～ ひがし茶屋街 ～

兼六園からすぐの場所にあります。友達がここもすごく雰囲気がいいから行ってもらいたいと案内してくれました。

実際に来るまで、この場所は知らなかったのですが、まるで京都の祇園のような街並みでとても風情のある場所でした。道路の反対側は住宅街なのですが、1 歩入ると別世界のような感じでした。着物や浴衣を着て歩きたくなる、そのような場所で、日本ならではの、日本の良さを感じることができました。立ち並ぶお店は、お茶屋さんや和菓子屋さんが多く、昼下がりにゆっくりお散歩するのにぴったりでした。



これから、暑さも徐々に落ち着いてきて、様々な場所に紅葉が映える季節となります。このような景色を楽しむことができる時間は、1年を通していても僅かな時間です。今回は、そういった景色を楽しむ時期ではなかったのですが、これから訪れる金沢の秋も情緒があるものとのことでした。少しだけ、足をのばして、お出かけしてみたいかでしょうか？私も、またゆっくり遊びに行きたいと思います！！（ただ…、今回は、夜行バスではなく、新幹線で行こうと固く決意しました 笑）